

# 軸となる取組・活動～授業改善

＜岡崎・近衛中学校ブロックの小中一貫教育＞

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つきたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載してください。（適宜、学年または一定の学年区分ごとに、実線・枠等の記入や点線の消去をしてください。）

義務教育卒業時につきたい力								
将来の生き方を見据え、自己実現を目指し主体的に学ぶ生徒の育成								
学びの基礎を作る時期		学びを広げる時期		学びを深める時期		主体的に学ぶ時期		
すすんで話を聞き友達と楽しく学習しようとする子		友達の思いや考えを知り、自分の考えと比べて意欲的に学習しようとする子		思いや考えを広げ自ら課題を見つけて学習しようとする子		自己の夢や可能性を追究し、粘り強く自己実現する生徒		
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動								
＜錦林小学校の取組＞ ① 児童に授業の見通しを持たせ、目当てから始まり,振り返りで終わる（「錦林スタイル」）。  ②様々な出会いを経験し、関心を高め自分の好きなこと得意なこと・できることを増やして生き生きと活動できるようにする。  ③ 生徒指導の三機能を意識した授業実践,学習集団づくりを行う。		①錦林スタイルを土台にして、自分思いや考えをわかりやすく表現し友達の考えを理解しようとする。 ② 家族や友達、周囲の人々との関わりを深め、自分及び他者の大切さに気付き自分のよさや役割が理解できるようにする。  ③ 生徒指導の三機能を意識した授業実践,学習集団づくりを行う。		①錦林スタイルを土台として、積極的な話し合いを繰り返り広げ相手の立場に立って考え行動しようとする。 ②自分の役割や責任を果たして集団の中で自分を生かす喜びを体得し、社会と自分とのかかわりから夢や希望をふくらますことができるようにする。 ③ 生徒指導の三機能を意識した授業実践,学習集団づくりを行う。		＜近衛中学校の取組＞ ①生徒指導の三機能を生かした授業づくりを進め、新学習指導要領への理解を深める。  ②ユニバーサルデザインを基本に、支援の必要な生徒への理解を深める。  ③学校運営協議会の立ち上げとともに、地域の人的物的教育資源を有効に活用した「地域とともにある学校づくり」を推進する。  ④「近衛の子につきたい資質能力」を目指す子ども像と位置づけ、カリキュラムマネジメントの視点で、あらゆる教育活動を通して、その実現を図る。		
＜第三錦林小学校の取組＞ ① 漢字や計算などの復習を繰り返し行い、基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけられるようにする。 ② 経験したことや身近な出来事から書きたい題材を決めて豊かに表現できるようにする。 ③ 読書指導の定着 ④ 語彙力アップの為の取組の充実 ⑤ 家庭学習の定着		① 授業の中で児童が思考する場面を意図的に設定し、意欲的に活動できるようにする。 ② 相手や目的に応じて調べたことや考えたことが伝わるように文章を書き、豊かに表現できるようにする。 ③ 読書指導の充実 ④ 語彙力アップの為の取組の充実 ⑤ 家庭学習の充実		① 単元を通して児童に付けたい力を明確にし、単元導入を工夫することで、見通しをもって主体的に学習できるようにする。 ② 事実と感想や意見を区別し、構成や表現を工夫して書き、豊かに表現できるようにする。 ③ 読書指導の充実 ④ 語彙力アップの為の取組の充実 ⑤ 自学自習の仕方の習得				
＜第四錦林小学校の取組＞ ①生徒指導の三機能を生かした教育活動の充実を図る。 ②学習のルール（8）を身につける。 ③授業の中で、自分の思いや考えをもつ。 ④自分の体を相手の方に向けて、話をしっかりと聞く。		①生徒指導の三機能を生かした教育活動の充実を図る。 ②学習のルール（8）を身につける。 ③授業の中で、自分の思いや考えを順序立てて伝える。 ④友達の話を受け止め、自分の思いや考えと比べながらしっかりと聞く。		①生徒指導の三機能を生かした教育活動の充実を図る。 ②学習のルール（8）を身につける。 ③授業の中で、自分の思いや考えを相手意識をもち整理して伝える。 ④相手の話に対してその理由や根拠を聞き取り、自分の考えと照らし合わせながら聞く。 ⑤常に、課題意識をもちながら友達と協力し学習に臨む。		＜岡崎中学校の取組＞ ① 21世紀型能力の育成  ②カリキュラムマネジメントの試行  ③授業中のルールの徹底  ④生徒の顔が自然と上がるような、学習内容や題材の提示→教科会の充実  ⑤学習の遅れがちな生徒への配慮と個別の指導		
＜北白川小学校の取組＞ ① 道徳（どう解く）の授業及び道徳（どう解く）と各教科等の「関連性・連続性」と共に「補充・深化・統合」を意識した授業を実践することを通して、次のような姿をめざす ・自分から進んで考える。 ・自分の考えを友達に伝える。 ・友達の考えを聞いて、自分の考えと比べる。 ・自分の生き方について考える。  ① 子どもたちが「考え、話し合う」ことを大切にした 45 分間の授業を構想し、実践する		① 道徳（どう解く）の授業及び道徳（どう解く）と各教科等の「関連性・連続性」と共に「補充・深化・統合」を意識した授業を実践することを通して、次のような姿をめざす ・自分から進んで考える。 ・自分の考えを友達に伝える。 ・友達の考えを聞いて、自分の考えと比べる。 ・自分の生き方について考える。  ② 子どもたちが「考え、話し合う」ことを大切にした 45 分間の授業を構想し、実践する		① 道徳（どう解く）の授業及び道徳（どう解く）と各教科等の「関連性・連続性」と共に「補充・深化・統合」を意識した授業を実践することを通して、次のような姿をめざす ・自分から進んで考えたり、まとめたりする。 ・友達の考えを友達に伝える。 ・友達の考えを聞いて、自分の考えと比べる。 ・自分の生き方について考えを深める。  ② 子どもたちが「考え、議論する」ことを大切にした 45 分間の授業を構想し、実践する				

＜中学校ブロックとしての取組＞ ◎公開授業の参観 ◎校内授業研究 → (授業改善)	○夏季休業中の6校合同研修会 ○各主任研修会 ・授業のめあてとまとめ (評価・振り返り)の明示 ・支援の必要な生徒に配慮した授業の展開 ・ペア学習，グループ学習による学び合いの実践 ・有効な家庭学習の提示 ・変化に富んだ授業の展開	◎「特別の教科道徳」「総合的な学習の時間」を軸とした小中一貫の実践 ・両部会の担当者による情報交換(年間指導計画・題材・教材・資料他) ・各校の目標やねらい，テーマのすりあわせ(共通事項の検討) ・9年間を見通した指導計画の作成 ・目標(ねらい)や振り返り(まとめ)の形式の統一 ・評価やそこに至る過程を検討する場の提供 ・授業公開や研修会の計画，実施
---	---	--

学びの約束・ルール

＜岡崎・近衛中学校ブロックの小中一貫教育＞

項 目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
コミュニケーション （話すこと）	・身近なことや経験したことなどから話題を決めて話す事柄を順序立てて話す。 ・聞こえる声で話す。 ・相手の顔を見て話す。 ・おわりまでしっかりと話す。	・話す事柄について理由や事例などを挙げながら，筋道立てて話す。 ・聞く人を見ながら適切な声で話す。 ・声の大きさと速さに気を付けて話す。 ・話の中心を意識して話す。 ・資料を見せながら話す。	・明確に伝わるように話の構成を工夫して，経験したことを関係付けながら話す。 ・聞き手を意識しながら適切な声で話す。 ・声の大きさと速さに気を付けて話す。 ・順序を考えて話す。	・構成を工夫して話す。 ・立場や考えの違いを踏まえて話す。 ・相手や場に応じて話す。	・話し手の意図をとらえながら聞き，自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。 ・話し手を見て聞く。 ・うなずきながら聞く。 ・自分の思いや考えと比べながら聞く。	・話し手の意図を考えながら聞く。 ・考えを比べながら聞く。 ・表現の工夫を評価して聞く。	・マスや行を意識してていねいな文字を使って書く。 ・めあてにそって自分の考えや友達の考えを書いたり，わかりやすくまとめたりする。	・課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育むとともに，家庭学習につながるノート作りを目指す。	
（聞くこと）									
ノートづくり	・マスの中にていねいな文字で書く。 ・めあてにそって振り返りを書く。	・ノートやワークシートをていねいな文字で書く。 ・めあてにそって自分の考えをわかりやすく書く。							